

「ありがとうの絵手紙」

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力 深める力

題材について

○題材観

本題材は、中学校学習指導要領の第2学年及び第3学年、特に「A表現（1）イ主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること。」「（2）ウ使用する者の気持ちや機能、夢や想像、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。」より設定している。ただし、本題材は①絵や彫刻②デザインや工芸の二つの活動両方に関連しているといえる。

本題材は、広島県熊野町で開催されている「筆の里ありがとうのちょっと大きな絵手紙大賞」を参考にしている。「ありがとう」をテーマにしているため、夏に部活動を引退し、これから受験や卒業の時期になった本学年の生徒に、中学校生活を振り返って3年間の思いを込めて作品づくりをさせたい。また1学期に制作した篆刻を書や絵画などのサインとして使用させる機会を設け学習のつながりを持たせるためにも設定した。また、社会や人とのかかわりを通して自己表現をしながら他者を尊重し相手に分かりやすく表現する言語活動とのつながりを持たせた。

さらに贈る人を思い手紙の内容を考えること、字を絵のように捉え、描き方や構成を考えること、絵を墨汁で描くこと、偶然できる墨のにじみや、意図してできる形など、総合的に自分の美的感覚を働かせて1つの作品に仕上げるものとして3年間の集大成として考える。

また、本校が設定した資質・能力の「思考力・判断力・表現力」の内容に「自分の考えを相手に納得できるよう、分かりやすく表現する力」がある。レベル3では「クリティカルに考え、判断し、相手意識を持って分かりやすく表現できる。」ことを求める。相手のことを思い感謝の気持ちを込めて絵手紙を描き思いを表現すること、そして完成した作品を贈ることは本校の生徒に身に付けたい資質・能力に一致すると考えた。

○生徒観

本学年の生徒は、規範意識が高く自ら進んで自主的に動く生徒が多い。挨拶、校歌、環境整備等について自校を誇るとともに沼隈への愛着と誇りを持つ生徒が多い。しかし、その良さを自らの作品制作などの表現活動に生かそうとしたり、相手に分かりやすく伝えようと表現したりする機会は少ない。自分の思いはあってもどのように表現したらいいか分からなかったり、自ら進んで「こんなものを作りたい。」という思いが低かったりする。そのため題材を自らの課題と捉え解決しようとしたり、自分に自信が無いことから作品制作に主体性が欠け、誰かの真似になることが多い。

生徒アンケート 7月 肯定的解答	%
千年中学校に愛着と誇りを持っています。	87.2
ふるさと沼隈に愛着と誇りを持っています。	87.6

美術科アンケート 9月 肯定的解答	%
①美術の授業が好きだ。	87.5
②風景画やデザインなど絵を描くことが好きだ。	43.7
③粘土や木材などで創作することが好きだ。	68.7
④作品を鑑賞することが好きだ。	84.3
⑤制作に必要な資料を自分で用意している。	46.8
⑥自分の考えや思いを大切にし、形にしようとしている。	81.2
⑦自分が好きだ。	18.7
⑧自分の作る作品が好きだ。	18.7
⑨こんなものを作りたいという思いがある。	21.8
⑩授業では自分の考えを積極的に伝えている。（形にしようとしている）	46.8
⑪自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように工夫している。	43.7

また本学年の生徒は、1学期の美術の授業篆刻を制作している。オリジナルの篆刻制作に興味を持ちこだわりを持って最後まで時間いっぱい制作した。印面を考える際には、細かい篆書体に挑戦し、何度も下書きを直して世界に一つだけの作品をつくらうとする態度が見られた。中にはキャラクターや誰かと同じものでないと不安に感じてしまう者もいた。アンケートでは「⑥自分の考えや思いを大切に、形にしようとしている。」が81.2%と高い。「⑧自分の作る作品が好きだ。」が18.7%と低い。理由として多く挙げられたものが「想像通りに上手に出来ないから」「下手だから」等である。形にしたい思いはあっても、上手にできないという思いが強いのが分かる。また実物のように上手に描きたいという思いから絵画に対する苦手意識が高いと捉えている。一方、1学期の篆刻や2学年時の粘土など、ものづくりの楽しさは感じている生徒は多い。また、鑑賞の時間ではペアや班で意見の交流を行い互いの意見の違いに興味を持ち、作品を認め合うことができている。「④鑑賞することは好きだ。」が84.3%と高い理由に「思ったことを書くから。」「他の人の作品はおもしろいから。」「人の作品を参考にできるから。」とある。このことから作品鑑賞は好きなことが分かる。

以上のことから、本学年の生徒は描きたい思いはあっても実際には上手に描けないことが苦手意識につながっていることが課題である。

○指導観

指導にあたっては、創造的な思考を働かせ新たな価値を発見・創造するために、手紙の内容についてはワークシートを用いて、誰にありがたいの感謝の気持ちを伝えるのか時間をかけて考えさせたい。また墨を使用することで生まれる偶然のにじみや、かすれを作品の良さや味わいと捉えさせたい。そして生まれる作品の温もりを絵や手紙、文字の形や流れから感じながら描かせることで、「下手だから」という苦手意識を、上手い下手ではない気持ちを込めて作品をつくることの楽しさへとつなげていきたい。さらに、鑑賞の時間が好きな生徒も多いことからペアや班で意見や技能の交流を行い、自らの作品に生かせるような時間を毎時間設け、作品の発表や掲示を行い思いや考えを伝える場にしたい。そこでの作品の交流を通して自身の作品に自信をもたせたい。

また自らの意図にあう表現技法に見通しをもって制作できるよう制作順序などは、毎時間確認し、次にすべき作業が見てわかる板書を行う。

今まで使用したことのない画仙紙や筆での表現については事前に練習をさせ、ゆっくりと気持ちを込めて筆を運ぶことに集中できるよう環境を整えたい。

題材の目標

- (1) 墨による多様な表現を楽しみ、作品をつくることができる。
- (2) 墨ならではの表現を生かし、ありがたいの気持ちを込めた作品の構想を練ることができる。
- (3) 材料や用具の使い方を工夫して、効果的に表すことができる。

題材の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
①主題などを基に、主体的に創造的な構成を工夫して構想を練ろうとしている。 ②材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを主体的に考え、表現しようとしている。 ③墨による多様な表現を楽しみ、作品をつくらうとしている。	①主題などを基に想像力を働かせ、形や色彩の効果を生かして単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。 ②墨ならではの表現を生かし、ありがたいの気持ちを込めた作品の構想を練ろうとしている。	①画仙紙や墨などの材料や用具、モダンテクニックなどの表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って表現している。 ②水の量や筆の使い方を工夫し、効果的に表そうとしている。	①お互いの作品を鑑賞し、墨の表現の豊かさを味わおうとしている。

題材として育てたい資質・能力のつながり

本校の育てようとする資質・能力の内容			題材として育てたい資質・能力が身につけた子どもの姿
知識	つながる知識	知 「既習事項」とのつながりのある知識 「他教科・領域」とのつながりのある知識 「地域・社会」「将来への活用」とのつながりのある知識	
スキル	思考力 判断力 表現力	表 課題を正しく受け止め、目的に応じて考え、根拠を基に判断する力 思考・判断に至った過程を振り返り、クリティカルに考える力 自分の考えを相手に納得できるよう、分かりやすく表現する力	絵手紙を贈りたい相手の事を考え、想像力を働かせ手紙の内容や文字の形、バランス、絵の構成や色彩を道具を工夫して自分の思いを表現する力が身につけている。
意欲・態度	主体性	主 自ら課題を発見し、よりよく解決しようとする 時と場を踏まえ、目的に応じて自ら判断し、行動しようとする	
価値観・倫理観	深める力	深 「存心(たたずむ)こと」「はっと気づくこと」 広い視野と細かな配慮を持って物事を捉える力 表面に見えていないものを感じ取り、深く思考を働かせる力 創造的な思考を働かせ、新たな価値を発見・創造しようとする力	墨ならではの表現を生かし良さや味わい、作品の温もりを感じながら思いを込めて作品を創造しようとする力が身につけている。
	共感力	共 「こだまし、うなづくこと」 他者意見を真摯に聴き、受け止め、相手目線で考える 関わり合いの中で、「思いやり・優しさ・助け合いの心」を持って行動する 仲間と協働し、ともに高まろうとする	

題材の終末におけるパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準
贈りたい相手の事を考え、想像力を働かせ手紙の内容や文字の形、バランス、絵の構成や色彩を道具を工夫して感謝の気持ちを込めて自分の思いを絵手紙に表現しよう。 【絵 …構図, 色彩, 手紙との関係性】 【手紙…内容, 文字の形や大きさ, バランス】	A 絵手紙を贈りたい相手の事を考え、想像力を働かせ手紙の内容や文字の形、バランス、絵の構成や色彩を道具を工夫して自分の思いを表現している。
	B 絵手紙を贈りたい相手の事を考え、絵と手紙の構成を工夫し、感謝の気持ちを込めて表現している。
	C 絵手紙を贈りたい相手の事を考え、感謝の気持ちを込めて表現しようとしている。

指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価				
			関	発	技	鑑	
					評価規準 (評価方法)	◆題材として育てたい資質・能力が身につけた子どもの姿 【資質・能力】	
1	課題設定	○感謝の気持ちを相手に伝える絵手紙について興味をもち、伝えたい相手を思い絵手紙の内容を考える。 ・絵手紙について知る。	○			アー③ (ワークシート, 行動観察)	

2	情報の 収集	○ありがたい絵手紙のアイデアスケッチをする。 ・手紙の内容を考える。 ・絵の資料を集める。	◎	○		アー① イー① (アイデアスケッチ)	墨ならではの表現を生かし良さや味わい、作品の温もりを感じながら思いを込めて作品を創造しようとする力が身についている。【深める力】
3	整理・ 分析	○作品の構成を練る。 ・画仙紙に墨汁で描く練習をする。 ・文章と絵の構成を練る。		○		イー①, ② (作品, 行動観察)	
4	創造・ まとめ・ 表現	○ありがたいの気持ちをこめて絵を描く。 ・画仙紙に墨汁で絵を描く。 ・構成の工夫ができる。 ・水彩絵の具で着彩する。		○	◎	イー② ウー② (作品, 行動観察)	絵手紙を贈りたい相手の事を考え、想像力を働かせ手紙の内容や文字の形、バランス、絵の構成や色彩を道具を工夫して自分の思いを表現する力が身についている。 【思考力・判断力・表現力】
5	実行	○ありがたいの気持ちをこめて文字を描く。 ・画仙紙に墨汁で文字を描く。 ・文字の描き方の工夫をする。 (流れ, 大きさ, 形) ○サイン, 押印をして仕上げる。 ・作品を完成させ、てん刻を押印する。		○	◎	イー① ウー①, ② (作品, 行動観察)	
6	振り返り	○作品を鑑賞し, 感想を書く。 ・互いの作品を鑑賞し, 表現のよさをみつけ感想をかく。			◎	エー① (ワークシート, 行動観察)	

本時の学習

(1) 本時の目標

「水の量や筆の使い方を工夫し、効果的に表すことができる。」

(2) 本時で育成したい資質・能力

- ・絵手紙を贈りたい相手の事を考え、想像力を働かせ手紙の内容や文字の形、バランス、絵の構成や色彩を道具を工夫して自分の思いを表現する力が身についている。

【思考力・表現力・判断力】

(3) 準備物

教科書, 資料集, ファイル, デザインセット, スケッチブック, 習字道具, プリント (美術科ワークシート, アイディアスケッチ)
画仙紙, 新聞紙, 墨汁, 筆, クレヨン, スパッタリング用網ブラシ, 参考作品

(4) 学習展開 (4限目/6)

まとめ・創造・表現

	学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法) 【資質・能力の評価】
導入 (10分)	1 前時の振り返りをする。	◇前時の振り返りの中でアイデアスケッチの内容に触れる。 ・「どんな思いを込めた絵手紙のアイデアスケッチを描いているか。」 例：ありがとう, 感謝, 部活のこと, 家族の事等 ・「墨を使って描くと, 作品はどのようになるか。」	

	<p>2 ワークシートにねらいを書く。</p> <p>【ねらい】水の量や筆使いを工夫し、墨を活かした絵を描こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート、アイデアスケッチの準備をする。 参考作品を見て、良さや表現の工夫を発見する。 表現の工夫点 絵について（構図、大きさ、筆致、手紙との関連など） 墨の留意点 墨の扱い方（筆使い、墨の量、片づけなど） 制作時の注意をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇参考作品を掲示し、良さや表現の工夫を発見させる。 ◇作品制作に向けて参考にしたい表現を見つけ、何にこだわって描くかを決めさせる。 ・表現の工夫点と、墨の使い方の留意点については区別をする。 	
<p>展開 (35分)</p>	<p>3 制作準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアや班で用具の準備を協力する。 <p>4 制作</p> <ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて個人で考えて制作する。 途中、生徒作品を鑑賞し、表現の工夫点を発表する。 <p>5 片づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 道具、作品を片づける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆全体の準備ができ、落ち着いて作業ができるまで、活動に入らない。 ◆制作進度に応じて、個々に声をかける。 ◇途中、生徒作品を掲示し、表現の工夫を紹介する。 ◇自分の表現意図について説明できるように発問する。 「作品の工夫点はどこか。」 (墨の扱い方、色、形、構図、筆致など) 	<p>水の量や筆の使い方を工夫し、効果的に表そうとしている。 【創造的な技能】 (作品、行動観察)</p> <p>絵手紙を贈りたい相の事を考え、想像力を働かせ手紙の内容や文字の形、バランス、絵の構成や色彩を道具を工夫して自分の思いを表現する力が身についている。 【思考力・表現力・判断力】</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>6 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに振り返りを書く。 振り返りを発表する。 墨を使って描くことの良さを発表する。 どんな気付きでも良いので発表する。 ・温かみを感じる ・温もり・優しい・柔らかい ・偶然の墨のにじみやかすれが面白い（作品の味となる） など <p>【まとめ】墨を使って描くことで温かみを感じる事ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の予告を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ◇振り返りを書く時間を充分とる。 ・墨を使って描くことの良さを発問する。 ◆どんな気付きでもよいので自由に発表するようにワークシートの記入をみて声をかける。 	